

【 授業実践 】

5組(特別支援学級)

生活単元学習 「ゴクミノマスクをつくろう」



生活単元学習「ゴクミノマスクをつくろう」では、児童が「出雲小の先生たちの健康を守る」という目標をもって、児童が得意なこと等を踏まえて役割を分担し、協力して、マスクづくりに取り組んだ。実際につくる活動の事前学習として、蒲田切子に関する講話を聞いたり、ダイヤ精機株式会社の職人の方の働く姿を見学したりして、ものづくりへの意欲が高まるようにした。マスクの製作工程に合わせて、「布切り職人（布の選定・裁断）」「縫い物職人（縫製）」「紐通し職人（紐の選定・紐通し）」の役割を設定し、いずれかの職人になって作業を進めた。試作したものについて、本校の教員から意見を集め、それを基に話し合い、試行錯誤しながら取り組んだ。

生活単元学習 「ゴクミノ工房を開こう～巾着袋屋になろう」



事前学習として、「ゴクミノマスクをつくろう」で協力をいただいた株式会社フォレストの鍋谷孝様から、改めて地域の伝統文化である蒲田切子について講話をいただいた。児童は蒲田切子の実物に触れ、蒲田切子の模様に対する関心を高めた。

巾着袋をつくる活動は、経験を生かして活動できるように、マスクづくりを行ったときの3つの職人に分かれて行った。

巾着袋は、タブレット端末で蒲田切子の文様を基に自由にデザインし、アイロンプリントで柄を付け、仕上げた。児童は職人として、「使う人の気持ちになって、丁寧につくる」ということを意識しながら、意欲的に取り組むことができた。

専科の取組(音楽科)

音楽 「打楽器の音楽をつくろう」



打楽器の音の組み合わせ、音の重ね方、反復などを生かして、4人一組で音楽づくりに取り組んだ。授業協力者による、ハンドパンの生演奏を聴き、音の響きの生かし方を学びました。児童は、楽器の特徴を生かしながら、図形カードを用いた簡易的な楽譜を活用して、試行錯誤を重ねながら、主体的・協働的に音楽づくりに取り組むことができた。